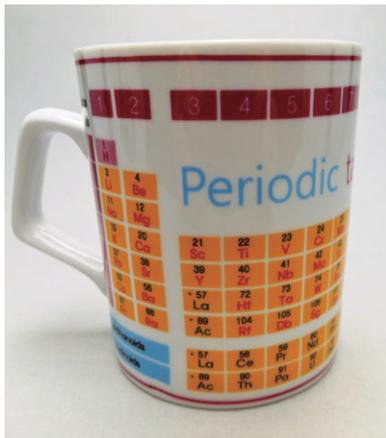




化学の こぼなし82

周期表下敷き

周期表。それは、化学いや、科学の世界になくてもならないもの。1869年にメンデレーエフが発表してから、はや143年。発表当時は、60個ほどに過ぎなかった元素が、現在118番まで記載されています。高校生にとっては、化学のテストのために覚えなければなりません、大人になってから、それらを覚えようというのは、知的な遊びでしょうか？それとも単なる酔狂…？まあ、覚えなくとも、周期表をつらつら眺めていると、これは、どんな性質かな、どんなところに使われているのだろう、こんなものもあったのかと好奇心がくすぐられます。私は、周期表を眺めるたびにこのようなことを考え、想像するのです。単に、物覚えが悪いだけでしょうか…。でも世の中には、あの表をデザインのひとつとして考える人たちもいて、マグカップのデザインにしてみたり、綺麗な写真を撮ってその画像をはめ込んで綺麗な周期表を作ってしまう人たちもいます。拙著「元素がわかる」(技術評論社刊)でも、



ダイソーで購入した周期表マグカップ。もっと買ってあげばよかった…。

編集者の方に口絵の部分にオリジナル周期表を作ってもらいました。これは、私の書いた本文を読んだイラストレーターさんがイメージをふくらませて作ってくださったものです。私はとても気に入っています。ただ、全体を見ようと思ったときに、本に織り込んであるのを開



自称、「世界一美しい周期表」確かに綺麗ですが…
科学館の売店でも販売中。

かないといけないうのが難点です。そこで、この周期表をもっと世に広めようと、このたび下敷きとして制作させていただきました。A4版なので、イラストも良くわかりますし、下敷きとしてもしっかりしたものなので、学生さんへのプレゼントとしても最適です。裏面には、一口解説として、それぞれの元素に関する話題を記しています。細かい字になってしまい、老眼が進んできた私には、ちょっとつらい文字の大きさになっていますが、読んでいただくと、その元素の豆知識が得られるのではないかと思います。



下敷きの表面 各元素のイメージをイラスト化。

もちろん、もっと内容を知りたいと思ったら、拙著「元素がわかる」をお読みいただけますと幸いです。

高校時代、単に覚えておきなさいといわれ、仕方なしに覚えようとした周期表。結局その当時は、身に着きませんでした。必要が高まるにつれ、その内容の面白さも増し、いつの間にかやたら結構な数を覚えてしまいました。

もちろん、使わないとすぐ忘れてしまいますので、油断はできないのですが、大人の皆さんにもこの下敷きを見て、元素や周期表のことをもっと知りたい、覚えてみたいという気持ちになってもらえたらうれしいです。この下敷き、科学館の売店で販売中です。一枚400円。下敷きとしては、高めですが、400円の投資をしていただく価値はあると思います。500枚限定ですので、お買い求めはお早めに…。人気商品になり、あっという間に売り切れたら良いな♪と思っています。

26 鉄 現代社会を支える元素。血液中のヘモグロビンの核となる 55.845 Fe →108	27 コバルト 合金やリチウム電池の製造に欠かせない。目薬にも使われる 58.93195 Co →110	28 ニッケル 50円、100円、500円硬貨に合金として使われている 58.6934 Ni →112
44 ルテニウム 触媒としての利用。PCなどのハードディスクで使う 101.07 Ru →144	45 ロジウム 触媒としての利用。メントールの生産によく使われる 102.9055 Rh →146	46 パラジウム 触媒として利用される。金と混ぜてホワイトゴールドを作る 106.42 Pd →148

下敷きの表面には、簡単な解説付き。

小野 昌弘(科学館学芸員)